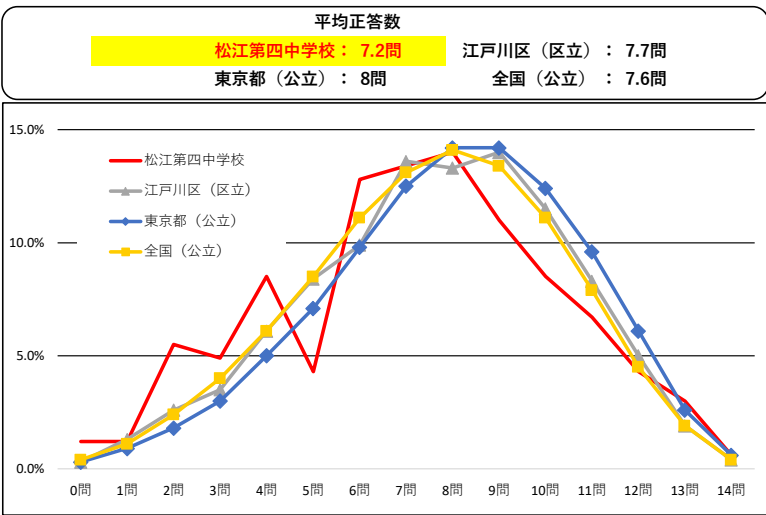


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】 松江第四中学校

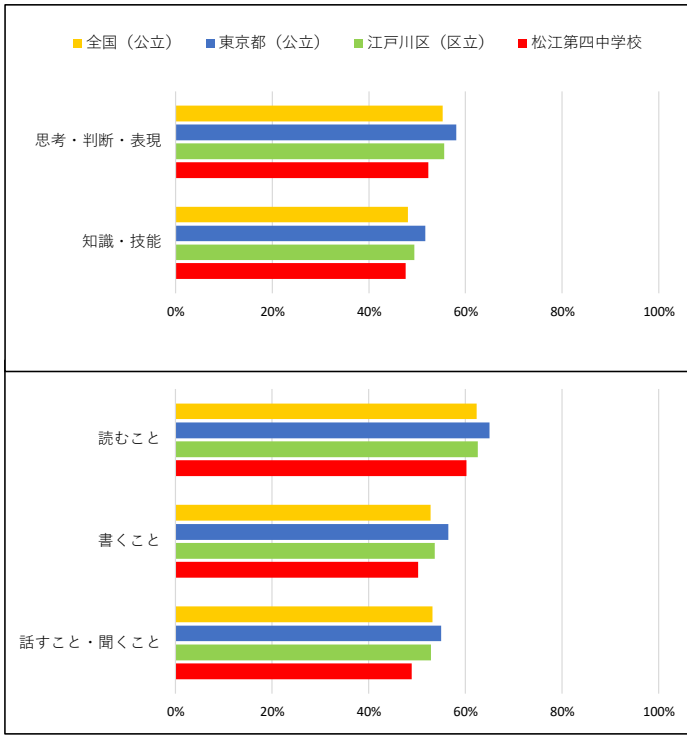
正 答 数 分 布



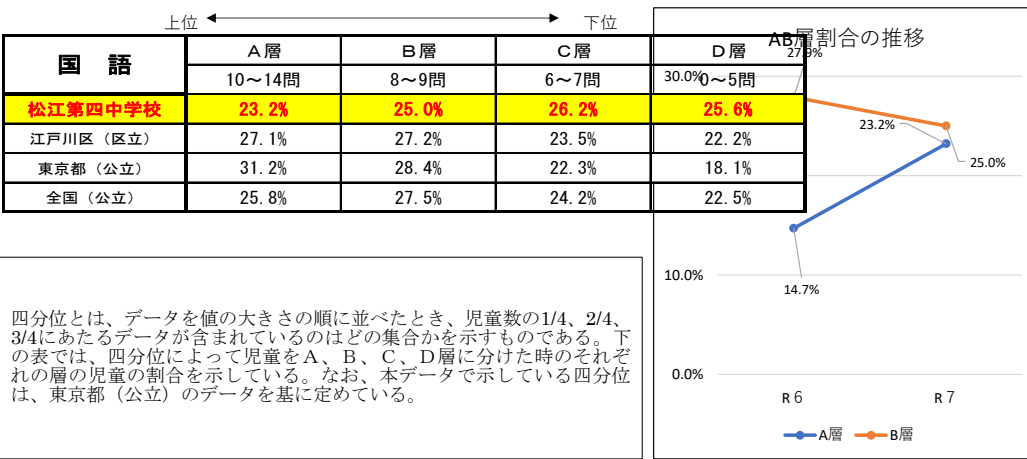
【平均正答率の差】

松江第四中学校	52%
江戸川区（区立）	55%
東京都（公立）	57%
全国（公立）	54.3%
都との差（ポイント）	-5.0

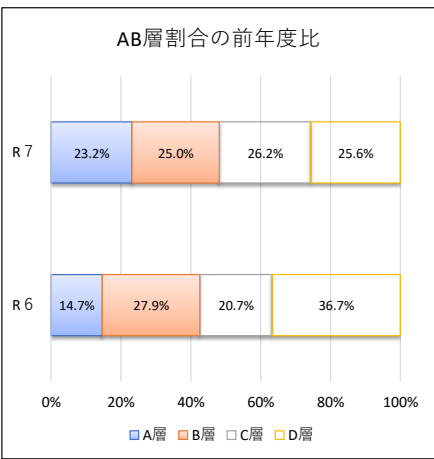
「領域別」の結果



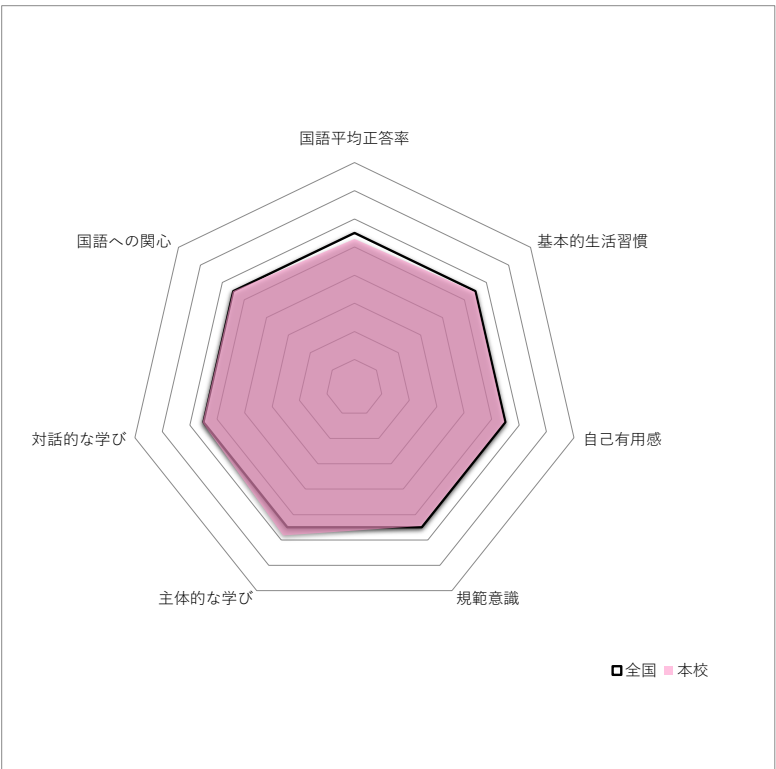
四 分 位 に お け る 割 合 （ 都 全 体 の 四 分 位 に よ る ）



四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

全ての項目値において全国平均と大きく差がない。主体的な学びの項目はむしろ全国平均を上回っている。こうした肯定的な資質が得点力向上につながるよう生かしていく。

《家庭・地域への働きかけ》

・三者面談などによる保護者との情報共有、連携、・規則正しい生活習慣の確立、・計画的学習に向けた段階的支援、・家庭学習の課題提供、

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について

B層の割合は2.9ポイント減少したものの、A層が8.5ポイントと大きく増加したため、AB計では5.6ポイント増加した。

・「話す」「聞く」を実践する授業、「書く」習慣を身につける授業、・授業の「めあて」と「まとめ」の明示・説明の共通実践、「江戸川っ子study week」の全校実施、・放課後学習教室、・家庭学習課題の提示

《学校の取組》

・教員の指導力向上

・授業研究週間の設定（年2回、全教員が他の授業を参観）、・学校で設定したテーマによる校内研修会（外部講師招聘）、・他校や外部機関など学校外での研修参加

・基礎学力の保障

・学力把握、・補充的な学習の指導、・「話す」「聞く」を実践する授業、「書く」習慣を身につける授業、・家庭学習の課題提供、・ICTを活用した授業、放課後学習教室、・定期考査前の質問教室

・学習習慣の確立

・規則正しい生活習慣の確立、・計画的学習に向けた段階的支援、・家庭学習の課題提供、・三者面談などによる保護者との情報共有、連携

・AB層の育成

・学力把握、・授業の「めあて」と「まとめ」の明示・説明の共通実践、・「江戸川っ子study week」の全校実施、・放課後学習教室、・家庭学習課題の提示、・ICTを活用した授業